



入野小だより

# いりの 通信

長子配布 No.17

令和6年1月10日

文責：校長 渡邊英博

学校目標：自ら学び、仲間と協働し、地域の未来を創り出す入野っ子の育成

①いつも気持ち良くあいさつ、返事、はきものをそろえる ②理解できるまでねばり強く学習 ③のびのび外で遊ぶ

## いよいよ閉校まで残り3か月。時間を大切に、児童一人一人の成長を目指し頑張ります！

2024年も9日間が過ぎ、いよいよ昨日から新学期が始まりました。冬休み期間中、お子さんはいかがお過ごしだったでしょうか。今年のお正月は晴天に恵まれ、気持ち良い天気が続きました。ところが、皆様も御存じのように年明け早々能登半島地震が発生し、たくさんの方が被害に遭われていて、連日報道される状況に心を痛めておられることと思います。しかし、そんな中でも、いろいろなところで助け合いの行動を起こされている方もいらっしゃり、昨日子供たちにもそのことを紹介しました。また、大谷翔平選手をはじめ著名人も義援金や支援を表明されています。このような方の姿から「困っている人のためにできることが何かないだろうか」とボランティア精神を学んでくれたらと思っています。

さて、昨日の始業式で児童に冬休みのことについて教務が尋ねたところ、「楽しかった」に手を挙げている児童ばかりでした。「お手伝いをした」児童も多くいて、充実した冬休みの生活の様子をうかがうことができました。また、子供の日記には、「家族でゆっくりゲームなどをして遊んだこと」や「普段会えない親戚と一緒に過ごせたこと」、「神社などに初詣に行ったこと」など楽しかった思い出がたくさん綴られていました。各御家庭で有意義に過ごされた様子を想像することができました。読む方も温かい気持ちになりました。

入野小としての最後の3学期、日々の時間を無駄にしないようにして、子供たちが安全に生き生きと学校生活を送れるよう全職員で力を合わせて頑張ります。今学期もどうぞよろしくお願いたします。

## 大谷選手から寄贈されたグローブを紹介し、一人一人実際に触ってみました！

新聞やテレビでも報道されている大谷選手寄贈のグローブが入野小にも届いています。高学年用グローブ右利き用1個左利き用1個、低学年用グローブ右利き用1個の計3個あります。子供たちに、終業式の中で紹介し、その後実物を各クラスで触ってもらいました。柔らかくて使い易そうなグローブです。添えられていた手紙を紹介します。憧れの大谷選手から頂いたグローブは大切に使用させていただきます。



貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。 野球しようぜ。 大谷翔平

## NHK及びチャンネルからつで入野小学校の校歌など紹介されます！

NHK佐賀の番組に「食べごろギュッとくん シリタイカ」というコーナーがあります。その中で「町を『まち』と呼んだり、『ちょう』と呼んだりすること」についての質問を取り扱われるそうです。肥前町は東松浦郡のときは、「ちょう」と呼び、唐津市となってから、「まち」と呼ぶようになりました。そのこともあって入野小に取材に来られます。チャンネルからつさんは、閉校する学校を紹介したいということで、校歌や授業風景などを撮影されるそうです。いずれも取材日は15日の予定です。放送日等詳細が分かりましたら、はなまるメール等でお知らせいたします。